

2026年6月18日

一般財団法人JR東日本文化創造財団

MoN Takanawa: The Museum of Narratives

MoN Takanawa 開館記念プログラム MoN歌舞伎舞踊公演

—京鹿子娘道成寺—

開館記念 口上 / 解説 歌舞伎のみかた / ドキュメンタリー映像

2026年7月2日（木）～7月5日（日）

数百年にわたり継承された技芸と想い

所作、美術、音楽が大型映像演出とともに新たな感動を呼ぶ

一般財団法人 JR東日本文化創造財団が運営し、2026年3月28日にTAKANAWA GATEWAY CITY内にオープンした「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、2026年7月2日（木）から7月5日（日）まで、開館記念プログラムの目玉として「MoN 歌舞伎舞踊公演」を開催いたします。

■ 伝統と先端技術の融合を表現し、文化を未来へ手渡すアーカイブとしての上演

本公演では、昨年襲名した八代目尾上菊五郎を主演に迎え、歌舞伎舞踊の大曲『京鹿子娘道成寺』を上演。伝統的な身体技巧と、大型LEDビジョンを活用した現代的な映像演出を融合させた、新たな伝統芸能の継承のかたちを提示します。長い時間をかけて磨き上げられた高度な技術の凝縮である伝統芸能と、先端の映像演出との協働により、100年先へ文化をつなぐ試みとして、MoN Takanawaは今回の作品を企画、上演いたします。文化を“未来へ手渡すためのアーカイブ”としてMoN Takanawaがご覧いただく、伝統芸能の新たな継承のかたちにご注目ください。

■ 初めての歌舞伎舞踊体験にも相応しいプログラム

『京鹿子娘道成寺』では、八代目尾上菊五郎が白拍子花子を演じます。紀州道成寺の鐘供養に現れた白拍子が、可憐さから艶やかさ、そして狂気へと変貌していく様を、衣裳の引抜きや多彩な舞で描き出します。その他、八代目尾上菊五郎によるMoN Takanawa開館記念口上、上村吉太郎による解説 歌舞伎のみかた、そして特別映像の上映も合わせてご注目ください。所作、美術、音楽が大型映像演出とともに、新たな感動を呼ぶ「MoN歌舞伎舞踊公演」。歌舞伎ファンの方にはもちろん、歌舞伎に足を運んだことのない皆様の“初めての歌舞伎舞踊体験”としてもお楽しみいただけます。乞うご期待ください。

■ 演目

1. 口上

開館を記念して八代目尾上菊五郎が口上を申し上げます。MoN Takanawaで、開館の喜びをお客様と分かち合い、新たな門出を寿ぐ一幕です。

2. 解説 歌舞伎のみかた

本編『京鹿子娘道成寺』の上演に先立ち、歌舞伎の歴史や見どころを分かりやすく解説します。『京鹿子娘道成寺』を楽しくご観劇いただくための解説パートです。解説は五世片岡我當の部屋子となり、現在は上村吉弥の門下として成長著しい上村吉太郎がつとめます。

3. ドキュメンタリー映像

八代目尾上菊五郎は『京鹿子娘道成寺』を昨年五月歌舞伎座で襲名披露狂言としてつとめました。その時の想いや今回MoN Takanawaで演じることについての意気込み、また未来への継承についての考えを盛り込んだドキュメンタリー映像です。過去の芸談や、『京鹿子娘道成寺』の舞台映像など貴重な資料とともに、「MoN歌舞伎舞踊公演」が目指す伝統とテクノロジーの融合を身近にご覧いただけます。

4. 京鹿子娘道成寺

満開の桜に包まれた紀州道成寺を舞台に、鐘供養に現れた白拍子花子が、優美な舞を繰り広げます。しかしその可憐な姿の奥には、恋に裏切られた女の激しい情念が秘められ、やがて鐘への執心は妖しく燃え上がります。本公演では、この歌舞伎舞踊屈指の名作を、最新のLEDビジョンを活用しダイナミックな映像演出でご覧いただけます。古典の身体的技巧をベースに、現代の観客の五感に響く演出を凝らした、MoN Takanawaでしかご覧いただけない作品です。

白拍子花子:八代目尾上菊五郎

所化:上村吉太郎

所化:市村橋太郎

■ 出演者プロフィール

八代目尾上菊五郎



八代目尾上菊五郎(音羽屋)。立役、女方。端正な立役から色気ある女方まで幅広く演じ、古典の継承と現代的解釈を両立。舞台・映像でも活躍し、歌舞伎の未来を担う存在。よく通る深みある声と気品ある美貌を兼ね備え、時代物から舞踊まで巧みにこなす。10代から磨き続けた女方には並々ならぬ安定感があり、『京鹿子娘道成寺』の白拍子花子では、身体性と心情が溶け合った詩情豊かな舞台を披露し、観客を魅了し続けている。

市村橘太郎



緩急自在の芝居で場を締める立役。子役時代からキビキビとした身のこなしや踊りの上手さで知られ、立師としても活躍してきた。経験により渋味も加わり、引く手あまたの活躍を続けている。『弁天娘女男白浪』の番頭与九郎で見せる愛嬌ある演技は観客を沸かせ、近年は『すし屋』の弥左衛門女房などの女方も手掛ける。かつて薫陶を受けた先人の教えを血肉とし、名脇役として劇団を支える存在。

上村吉太郎



五世片岡我當の部屋子となり、現在は上村吉弥の門下として成長著しい若手歌舞伎俳優。着実に実力をつけ、近年は大きな役も多数つとめる。2007年「みよし会」『傾城阿波の鳴門』巡礼お鶴役にて上村吉太郎の名で初舞台を踏んだ。続く南座『時平の七笑』では稚児松乃丸役を好演。若手ながら丁寧な役作りで存在感を示しており、今後さらなる飛躍が期待される注目の俳優である。

日程:2026年7月2日(木)～2026年7月5日(日)

会場:MoN Takanawa: The Museum of Narratives Box1000(JR東日本 高輪ゲートウェイ駅直結)

出演:八代目尾上菊五郎、市村橋太郎、上村吉太郎 ほか

舞台制作:松竹株式会社

主催:MoN Takanawa: The Museum of Narratives

■公演スケジュール

7月2日(木) 17:00開演

7月3日(金) 12:00開演

7月4日(土) 12:00開演／17:00開演

7月5日(日) 12:00開演

※開場は開演の30分前です。

■チケット料金(税込)＜チケット絶賛発売中！＞

一般SS席:15,000円／一般S席:12,500円／一般A席:9,500円／一般B席:7,000円

U25-SS席11,000円／U25-S席:9,000円／U25-A席:7,000円／U25-B席:5,000円

＜※U25チケットは、MoN Takanawa チケット、ローソンチケットのみで取り扱います。＞

※料金は全て税込価格です。

※4歳未満のお子さまはご入場いただけません。

■チケット購入方法

・【公式】MoN Takanawa チケット(会員限定)

<https://ticket.montanakanawa.jp/project/UJNHymbdEq?lang=ja>

※ご利用には会員登録が必要です。会員限定の先行販売や優待価格など、MoN Takanawa をより便利にお得にお楽しみいただける公式チケット販売システムです。「JRE ID」または「au ID」をお持ちの方は、ログインするだけですぐにご利用いただけます(登録無料)。

・チケットWeb松竹／チケットホン松竹

チケットWeb松竹:<https://www1.ticket-web-shochiku.com/t/>

チケットホン松竹(10:00~17:00 年中無休・年末年始を除く) 0570-000-489 03-6745-0888

・**MoN Takanawa** 公式プレイガイド ゲスト購入(**Fever**)

<https://feverup.com/m/603577>

会員登録をせずに、公式販売パートナーであるチケット予約プラットフォーム「Fever」にてご購入いただけます。

・**JRE MALL** チケット

<https://event.jreast.co.jp/activity/detail/a049/a049-kabuki2026>

・ローソンチケット

<https://l-tike.com/takanawa-kabuki26/>

■お問い合わせ

<https://montakanawa.jp/contact/> (プログラム・イベントについて)

■伝統からマンガ、音楽、宇宙まで。文化の実験的ミュージアム

MoN Takanawa: The Museum of Narrativesについて

The Museum of Narratives の頭文字「MoN」には、新たな自分と出会う新しい世界への「門」、そして、未来を考え創造するための「問(問い)」の2つの意味が込められています。

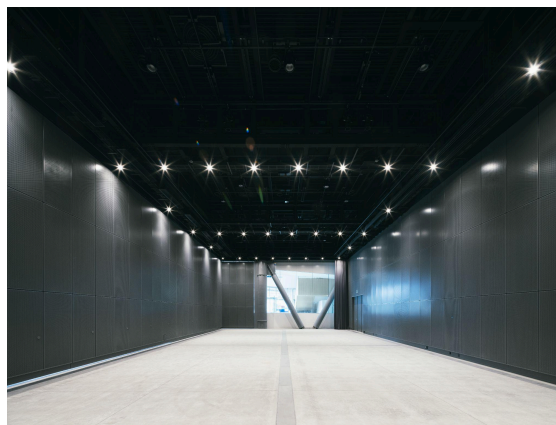


Photo: Yasuyuki TAKAKI

公式ウェブサイト：<https://montakanawa.jp/>

公式Instagram：<https://www.instagram.com/montakanawa/> (@montakanawa)

今後の詳細情報は、公式ウェブサイトおよびSNSを通じて順次発信します。

名称	MoN Takanawa: The Museum of Narratives
事業者	一般財団法人JR東日本文化創造財団
敷地面積	7,977.31 m ²
延床面積	28,952.55 m ²
高さ	44.98 m
階数	地上6階・地下3階
主用途	展示場、ホール、飲食施設等
設計者・デザイナー	品川開発プロジェクト（第Ⅰ期）設計共同企業体 外装デザインアーキテクト／隈研吾建築都市設計事務所

■一般財団法人JR東日本文化創造財団について

当財団は「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」の企画運営を通して、日本の文化創造に貢献するための組織として2022年4月1日に設立されました。「100年先へ文化をつなぐ」をミッションに、これまで育まれてきた伝統や文化に現代の価値観やテクノロジーを融合させ、より広い時間軸と国内外のパートナーとともに国際的な共創、交流、発信を行ってまいります。

※「MoN」、「MoN Takanawa」並びに「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、一般財団法人JR東日本文化創造財団の登録商標です。